

いなべ警察署協議会議事録

令和6年度第4回いなべ警察署協議会	
日 時 場 所	令和7年2月12日（水）午後1時30分～午後3時 いなべ警察署3階会議室
出 席 者	1 警察署協議会 7名 一木正博委員、上野真由委員、小林正孝委員、 清水義久委員、瀬戸口一美委員、辻定委員、 古市三奈子委員 2 警察署 8名 署長、副署長、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備係長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 視察（大安ICアクセス道路） 2 管内治安概況等の説明（警察署長） (1) 刑法犯認知件数 (2) 特殊詐欺発生状況 (3) SNS型投資・ロマンス詐欺発生状況 (4) 交通事故発生状況 3 協議内容 (1) 企業の交通安全活動について ＜委員＞ 従業員の交通安全意識を向上させるために、交差点での街頭活動を検討している。交通事故が発生するおそれがある危険箇所で行うことで、より効果を得られると考えるため、適切な場所があれば教えていただきたい。 【署長】 交通事故は幹線道路沿いでの発生が多い。住民の方からは、生活道路や通学路の取締りや安全対策の要望を頂くことが多いので、そうした場所を実施していただくのも有効ではないかと思う。 (2) 横断歩道上の事故について ＜委員＞ いなべ警察署管内における、横断歩道上での歩行者の交通事故発生状況について教えていただきたい。 【交通課長】 令和6年中は5件発生している。 (3) ハイビーム機能の利用について ＜委員＞ 夜間に車両のヘッドライトの影響で歩行者が突然見えなくなる「蒸発現象」というものがあるが、昨今、オートハイビーム機能が普及したことにより、蒸発現象に起因する事故が増加するのではないかと考える。警察としてどのような対策を考えているのか教えていただきたい。 【署長】 道路交通法では、夜間に走行する際は原則としてハイビームを使用することが定められており、運転者の視認性を高め	

るためにもハイビームは有効である。一方で、対向車がいる場合は、ヘッドライトの照射範囲が広すぎると蒸発現象の原因となることは理解している。そのため、状況に応じた適切なハイビームの使用について呼びかけていきたいと考えている。

(4) 員弁町での刑法犯発生状況について

＜委員＞ 員弁町での刑法犯認知件数が増加した原因を教えてください。

【刑事課長】 自転車盗等の窃盗犯が増加したことが要因の一つであると考えます。

(5) 員弁町での交通事故発生状況について

＜委員＞ 員弁町での交通事故認知件数が増加した原因を教えてください。

【交通課長】 交通量が増加したことが要因の一つと考えている。交通事故発生状況を参考に効果的な事故防止対策を行っていききたい。

(6) 狭い道での事故防止について

＜委員＞ いなべ警察署管内には狭い道が多く、そうした道で事故が多く発生しているのではないかと感じている。狭い道での事故防止対策について教えてください。

【署長】 なるべく広い道を走る方が安全であるが、狭い道を走る場合は、十分に安全確認をしていただく必要がある。危険箇所があれば地域の講話などで積極的に広報したいと考えているため、情報提供をお願いします。

4 年末警戒取締イベント映像の視聴

5 警察署長謝辞

備 考	
-----	--